

8月21日吹上ホールでアサヒ飲料主催「SDG 将来世代創造フォーラム 2024」が開催されました。63個のブースは健康、環境、地域共創の3つのテーマに分かれており、パネル展示やクイズ形式で来場者が楽しく学べるものでした。会場は猛暑の中親子連れを始めとした来場者で賑わっていました。私たちは様々なブースを見学・取材しました。そのうちの5つをまとめています。



アサヒ飲料 株式会社 CSV 戦略部

「CO²を食べる自販機」を展示していました。自販機の下部にCO²吸収材が取り付けられています。吸収量は年間で杉の3本分あるそうです。吸収材は2週間に一度程度交換する必要があります。



新三商事 株式会社

「食と農の循環サイクル」についてパネル展示をしていました。食堂での食事の提供で発生する生ごみを使って堆肥を作り有機栽培に活用するそうです。育てた野菜を調理し提供することでサイクルが生まれます。また、アサヒ飲料の「CO²を食べる自販機」から排出される吸収材を回収・加工し堆肥として有効活用する取り組みも行っているそうです。



名古屋国際中学校・高等学校

名古屋国際中学校・高等学校のSDGs未来倶楽部(Sus-Teen!)のみなさんが出展されていました。Sus-Teen!のみなさんは地元企業と連携しコラボ商品を出しているそうです。そのうちの一つに「サステイナブルえびせんべい」というものがあります。えびせんべいやうどんの製造時に廃棄されていたえびの頭やうどんの切れ端から製造されたえびせんべいです。



株式会社 折兼

SDGs の 17 の目標の内どれに一番興味があるかのアンケートに参加するとガチャガチャを楽しめるという展示でした。バガス容器の分解の実演の展示がありました。バガス容器とはさとうきびの搾りカスであるバガスや竹などを使った容器です。アサヒ飲料の「カルピスのじゃくち」のブースで使い捨てコップとして使われていました。写真は SINKPIA という生ごみ処理機でバガス容器を分解する実験の様子です。本来は生ごみを分解する SINKPIA ですが、バガス容器は生分解性があるため分解されるそうです。



アサヒ飲料 株式会社 CSV 戦略部(「カルピス」のじゃくち)

来場者は 1 人 1 杯、じゃくちからバガス容器にカルピスを注ぎ飲むことができました。
また、カルピスのじゃくちがどこに設置されたらうれしいかなどのアンケートもとっていました。

このように会場には、楽しく SDGs について学び、そして生活について共に考えることができる様々なブースがありました。私自身も、同世代の学生たちの環境と人のための活動について知ることができとても影響を受けました。